

平成22年度 ノーステック財団「研究開発助成事業」
食関連クラスター支援事業補助金 申込書

標記の事業を実施するにあたり（様式1-3）の研究機関等の協力が得られることが確認できたので、本書のとおり研究課題を提案いたします。

1. 申込者

申込者 (企業・ 団体)	(フリガナ)	
	企業名・団体名	※ 道内の企業・団体に限ります。
	(フリガナ)	
	代表者 職・氏名	※ 必ず押印してください。 (代表者印)
	本社・本部所在地	〒 - TEL: FAX:
	(フリガナ)	
	申込書作成者 担当者 職・氏名	※ 申込書の記述に関し説明のできる方を記名してください。
(フリガナ)		
経 理 担当者 職・氏名		

< 申込者（企業・団体）の主な研究開発実績・蓄積 >

※ 主な自社の開発実績や共同研究実績（協力教官の氏名・研究内容）などを箇条書きにより記載してください。

(様式 1-2)

2. 申込者（企業・団体）の従事研究員名簿

【研究代表者】

(フリガナ)		所属部署 ／役 職	
研究代表者 氏 名	E-mail :	TEL	
		FAX	
		※本事業の研究責任者	
研究 歴 (主な職歴と 従事してき た研究内容)	※最終学歴から順次箇条書きしてください。		

【研究従事者】

(フリガナ)		所属部署 ／役 職	
氏 名	E-mail :	TEL	
		FAX	
(フリガナ)		所属部署 ／役 職	
氏 名	E-mail :	TEL	
		FAX	
(フリガナ)		所属部署 ／役 職	
氏 名	E-mail :	TEL	
		FAX	
(フリガナ)		所属部署 ／役 職	
氏 名	E-mail :	TEL	
		FAX	

※人件費、出張旅費などの計上が見込まれる研究従事者は必ず記載してください。

※※臨時に雇い入れる研究補助員は記載不要です。

(様式 1-3)

3. 研究協力機関（研究員）名簿

研 究 協 力 機 関 等	(フリガナ)			
	機 関 名	※道内の研究機関等に限ります。		
	(フリガナ)			
	所 属 長	押印不要		
	所 在 地	〒 —		
		TEL :	FAX :	
	研 究 成 果 を 保 有 す る 研 究 者	(フリガナ)		
		代 表 研究協力者 職 ・ 氏名	※本研究の研究シーズを有している道内の研究者に限ります。 ※必ず押印してください。 印	
		連 絡 先	〒 —	
			TEL :	FAX :
		主たる研究・ 技術開発分野		
		主たる研究・ 開発キーワード		
		(フリガナ)		
		研究協力者 職 ・ 氏名	E-mail : 印	
主たる研究・ 技術開発分野				
主たる研究・ 開発キーワード				
(フリガナ)				
研究協力者 職 ・ 氏名	E-mail : 印			
主たる研究・ 技術開発分野				
主たる研究・ 開発キーワード				
(フリガナ)				
研究協力者 職 ・ 氏名	E-mail : 印			
主たる研究・ 技術開発分野				
主たる研究・ 開発キーワード				

(様式 2-1)

応募区分

事業名	補助金名	研究分野
食関連クラスター支援事業	食関連クラスター支援事業補助金	

提案事業の概要 (必要に応じ参考資料を添付してください。)

開発テーマ (研究キーワード)	<p>※ 30字程度で表現してください。(サブタイトルをつける場合はそれを含めて)</p> <p>※ <u>研究キーワードを括弧書きしてください。(審査を行うために応募テーマを分野分類するときの参考とします。)</u></p>
<p><事業の概要></p> <p>※200字以内</p> <p>※開発テーマの内容をコンパクトに取りまとめて記載してください。</p>	

【 他の助成制度での類似提案の実施 (現在申請中のものを含む) の有無 】

※共同研究者として参画している場合も含む (複数回答可)

<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有		
<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月～平成 年 月	助成金額	
<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月～平成 年 月	助成金額	

(様式 2-2)

提案事業の詳細 (1)

(必要に応じ参考資料を添付してください。)

<事業を実施する背景と目的>

※300字以内

※研究開発を計画するに至った背景及び目的を、その必要性・具体的なニーズ、解決すべき課題などを交え記載してください。

<活用する大学等試験研究機関の研究成果>

※字数制限なし

※活用する研究成果について、独自性、革新性などにも触れて、分かりやすく記載してください
※競争的研究資金等を利用した研究開発プロジェクトで創出された研究成果の場合、プロジェクト名や実施年度、その研究成果が得られた機関や知的財産の保有機関等がわかるように記載してください。

<本事業で取り組む研究開発成果の目標>

※ 字数制限なし

※ 当該研究開発終了時の成果目標を、実用化をゴールとした場合の位置づけ、目標設定の根拠などにも触れ、具体的に記載してください。

<研究開発の内容及び方法>

※字数制限なし

※目標達成に向けた研究開発内容を、実施の流れ図などを用いて、分かりやすく記載してください。
※課題を解決するための技術的手法について、保有する技術や新規に導入する技術などを示し、従来技術との対比や優位性を説明するなどして、わかりやすく記載してください。

(様式 2-3)

提案事業の詳細 (2)

(必要に応じ参考資料を添付してください。)

<研究開発項目及び役割分担>

※字数制限なし

※具体的な研究開発項目と研究開発に参画する研究員全員の役割分担が分かるように記載してください。

<研究開発スケジュール>

研究開発項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※矢印などを用いて、前述の研究開発項目の実施期間を示してください。

<実施後の事業化展開の構想及び食関連産業振興への効果>

※字数制限なし。

※本事業における研究開発成果を基に、次の事業展開としてどのようなことを目指しているか（製品化、他企業などへの技術移転や事業化のための共同研究など）、実用化の見通し（実用化のスケジュールなど）にも触れて記載してください。

※また、具体的な市場ニーズにも触れて、実用化する製品・サービス等について、明確に記載してください。

※事業化が成功した場合の食関連産業振興への効果について、開発製品やサービスが生み出す産業や新規需要の具体的内容を記載してください。またその際、提案者の市場シェアの拡大に貢献するのか、新たな市場を創出するのかに触れて記載してください（可能な限り定量的に表現してください）。

(様式 3)

経 費 積 算 書

(単位：千円)

経 費 区 分		総事業経費			積 算 内 訳 (単価・数量・使用目的等)
		(A + B)	ノーステック財団 補 助 金 (A)	自己資金 (B)	
機 械 装 置 費	機器装置等 購入・製作費	【注意事項】 ・ パーソナルコンピューター、プリンター、コンピューター周辺機器などの汎用物品は原則補助対象外			【記入例】 小計1,000,000円 ○○攪拌機 : 400,000円×1式 △△検出器 : 600,000円×1式
	機器リース料				
人 件 費	研究員人件費	・ 人件費総額は補助事業対象事業費の40%以内 ・ 通勤交通費は対象外 ・ 労働時間は1,800時間が上限 ・ 時間単価は2,000円が上限			小計 1,000,000円 500時間(1日時間×)×2000円/時間 使用目的: ○○分析、◇◇データ解析の実験補助
	研究補助員 賃金				小計 300,000円 300時間(1日5時間×)×1000円/時間 使用目的: ○○分析、◇◇データ解析の実験補助
調 査 研 究 諸 費	原材料 消耗品 購入費				小計450,000円 ▲▲実験用試薬 2,500円×40個 ○○複合体の原材料 5,000円×30袋 ◇◇培養用培地 15,000円×10個 プラスチック・ガラス器具類 50,000円×1式
	旅 費	・ 原則、貴社の旅費規程によるが1人1日あたり宿泊費15,600円、日当3,100円が上限			小計400,000円 外部協力者招聘のため(東京-札幌) : ¥80,000×1人回=¥80,000 関連技術調査のため(東京-札幌) : ¥80,000×4人回=¥320,000 使用目的: ▲▲研究会等出席による情報収集
	その他経費	・ 施設改造費、交際費、会議費、飲食費、茶菓子、土産代等の一般管理費的な支出は一切対象外			小計850,000円 △△輸送費(クール便) 1,000円×5回 ◇◇分析試験一式 計800,000円 書籍: ○○解析関連専門書 5,000円×3冊 ◆◆に関する専門家謝金 30,000円
合計					

※経費積算書には、補助事業に要する経費のうちで、補助対象となる経費(消費税仕入控除税額を差し引いた金額)を記入してください。

(補助事業に要する経費－消費税等仕入控除税額＝補助対象となる経費)